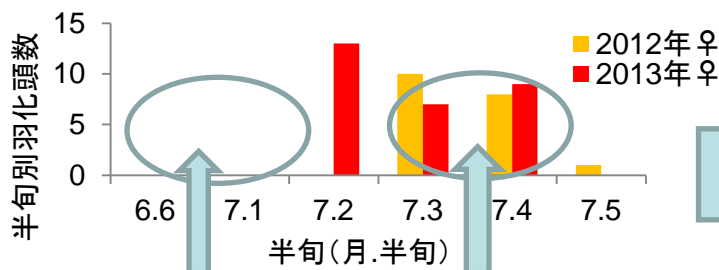


ナシ枝幹害虫の発生生態の解明 (農林センター)

若い枝を食害する「ナシカワホソガ」の羽化時期と主幹を食害する「フタモンマダラメイガ」の発生生態を把握し、効率的な防除方法を解明

ナシカワホソガの防除: 丹後地域特有の要防除時期を特定

⇒ 他地域よりも遅い7月中旬にシンクイムシ類と同時防除することで防除効果大



7月中旬に本害虫を対象とした防除実証

新梢被害0%
(無防除は5.3%)

防除暦に適用

一般専門書や鳥取県での要防除時期(丹後で発生なし)

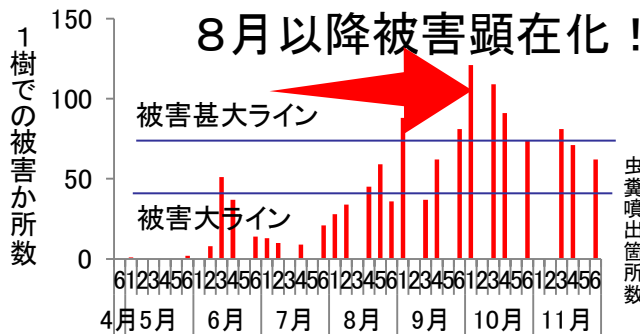
丹後地域での要防除時期(7月中旬)

フタモンマダラメイガ発生実態解明: 府全域8月以降被害が拡大

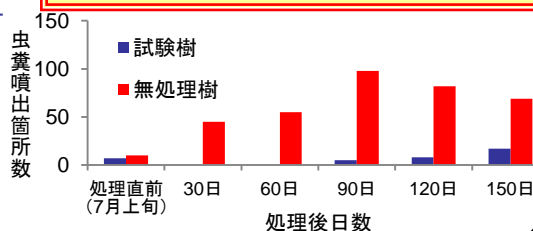
7月にフタモンマダラメイガに対して唯一登録があるフェニックスフロアブルを樹幹散布することで被害軽減



<被害か所>
虫糞噴出が確認される



7月にフェニックスフロアブル散布で被害軽減実証



- ・丹後地域でのナシカワホソガの要防除時期は7月中旬が適期
- ・府内全域でフタモンマダラメイガの被害を確認。その被害は夏季～秋季に増加
- ・フタモンマダラメイガに対し7月に樹幹へフェニックスフロアブルを散布することが有効

・ 枝幹害虫の防除に対しては、果実や葉だけではなく主幹や主枝に対しても十分に薬剤を散布することが重要です。